

令和５年長浜市議会定例会
令和６年６月定例会
閉会あいさつ

令和６年６月２５日

令和6年6月定例月議会^{ていれいづき}の閉会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例月議会におきましては、一般会計補正予算や条例改正などの諸議案に対して、議員の皆様には慎重なご審議をいただきましたことに感謝申し上げます。

特に、副市長の2人制に関しましては、本会議や委員会において、様々なご意見をいただき、一部の予算を減額した修正案が議決されました。市としましては、副市長2人制の効果を実感いただくためにも、7月1日に就任^{おぎた}いただく荻田副市長を歓迎し、病院再編事業をはじめとする様々な行政課題の解決に向け、共に全力を尽くしてまいります。

しかしながら、予算常任委員会の議案審査過程において、議案第52号令和6年度長浜市一般会計補正予算（第1号）が、何の議論もなされないまま、議会として「予算の組替動議」や「予算の減額修正」、さらには「予算付帯決議」など、いくつかの対応手法があるにも関わらず、児童手当の制度拡充に伴う扶助費やフリースクー

ル利用者支援関連予算、自治会への助成金、北部地域における道路改良や消雪整備工事、除雪車両の購入費用、橋梁補修工事、神田スマートインターチェンジ整備費など、「市民のための重要な予算」を否決されましたことは、大変残念でございます。

この事実は全国に広く周知され、国や県から電話やメールが市役所に数多く入るなど、関係機関にも不安と心配を大いに与える結果となりました。長浜市が国や県からの信頼を失う結果となりかねず、未来の長浜市政にも多大な影響を与え、禍根を残しかねない結果となったことは、非常に残念でなりません。

今後につきましては、今回の経過を踏まえ、様々な課題につきまして、是非とも十分な議論を尽くされるようお願いするものです。

もちろん、市としても対応を考えなければならない点もあると思います。互いの意思疎通を円滑にするために、政策議論の場や長浜版の党首討論の場を具体的に検討する時期が来ていると考えております。7月からでも開

催できるよう、議会側でも具体的な検討をお願いいたします。

それでは、閉会に当たりまして、近況についてお話をさせていただきます。

まず、今月１７日、県と市町の連携による産業用地開発事業について、産業建設常任委員会でご報告するとともに、米原市長と共同記者会見を行い、新聞等で広く報道いただきました。

この事業は、長浜市が抱える人口減少や若者の流出といった課題解決、そして魅力あるまちづくりに大きく貢献するものであり、非常に夢のある事業と考えております。

候補地として、長浜市の神田地域と米原市の長沢地域の合同地、約３５ヘクタールを選定いたしました。この場所は、国道８号に面し、神田スマートＩＣやＪＲ田村駅に近接しており、交通の結節点を最大限生かせることが

大きなポイントとなります。

さらに、長浜バイオ大学やサイエンスパーク、長浜病院や福祉医療施設など、様々な都市機能と連携できる可能性もあり、バイオや医療などと連携した成長産業を呼び込みたいと考えております。

また、米原市との自治体間連携は、これからの時代におけるまちづくりを進める上で重要な取組となります。現在進めている南長浜のまちづくりの大きな推進力と捉え、取組を加速させてまいります。

今後は、申請手続きの最終調整を行い、必ず長浜市と米原市の合同地で事業が実現できるよう、両市が一丸となって、県への働きかけを進めてまいります。

併せて、近年の企業の設備投資の高まりや国内回帰等の企業のニーズに対応できるよう、市内企業への個別ヒアリングを通じて状況を把握し、必要な対策を早期に進めていきたいと考えております。

また、あと^{ひとつき}一月ほどで、民間放課後児童クラブのプー

ル事故から１年が経ちます。改めて、ご家族の方々へ心からお悔やみを申し上げます。

この事故を教訓に、二度とこのような悲惨な事故が起ることのないよう、今後も引き続き、事故の再発防止策を確実に実施するとともに、より一層、安全な放課後児童クラブの運営に努め、安全安心なまちづくりに向けて、取組を進めてまいります。

結びになりますが、暑さも日増しに厳しくなってきました。議員の皆様におかれましても、くれぐれもご自愛いただきますことをお願い申し上げ、閉会に当たっての私からのご挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。